

2 プリンタードライバーのインストール

クライアントPCにプリンタードライバー、またはプリンター記述ファイル（PPD）をインストールする手順について説明します。

- | | |
|-------------------------|------|
| 2.1 Macクライアント | P.9 |
| 2.2 Windowsクライアント | P.11 |

Mac（macOS）クライアントとWindowsクライアントで、インストール方法が異なります。

プリンタードライバーを設定するには、接続するプリントサーバーの【ゲートウェイ】に【TCP/IP】の論理プリンターが作成されている必要があります。

補足

プリントサーバーのコンピューター名、論理プリンターナー名などがわからない場合は、ネットワーク管理者（プリントサーバーの設定担当者）に確認してください。

参照

- 論理プリンターについては、『サーバー設定編』の「3 論理プリンターの設定」を参照してください。
- プリンタードライバーで設定できるジョブプロパティについては、『ジョブプロパティ編』の「9.1 各ダイアログボックスのジョブプロパティ」を参照してください。

2.1 Macクライアント

インストールの前に、あらかじめ、プリンタードライバープラグインをダウンロードしておきます。

補足

プリンタードライバーのインストールは、OSの再起動直後に実施してください。

■プリンター記述ファイルのインストール

1. 「X10.12_APGPN01_V300_PPD_JPN」フォルダー内の「10.12_APGPN01_V300_PPD_JPN.pkg」をダブルクリックします。
「X10.12_APGPN01_V300_PPD_JPN」フォルダーは、ダウンロードした「10.12_APGPN01_V300_PPD_JPN.dmg」を展開すると表示されます。
2. 【続ける】をクリックします。
3. 【インストール】をクリックします。
4. 管理者の名前とパスワードを入力し、【ソフトウェアをインストール】をクリックします。
インストールが開始されます。
5. インストールが完了したら、【閉じる】をクリックします。

■プリンターの作成

補足

Bonjour機能を使用して、プリンターの作成もできます。
Bonjour機能については、「Bonjour機能」（P.11）を参照してください。

1. 【システム環境設定】で【プリンタとスキャナ】をクリックします。

2. [+] をクリックします。



3. [IP] をクリックします。



4. [プロトコル] で、[LPD (Line Printer Daemon)] を選択し、[アドレス] にプリントサーバーの IP アドレスを、[キュー] に接続するプリントサーバーの TCP/IP 用の論理プリンター名を入力します。

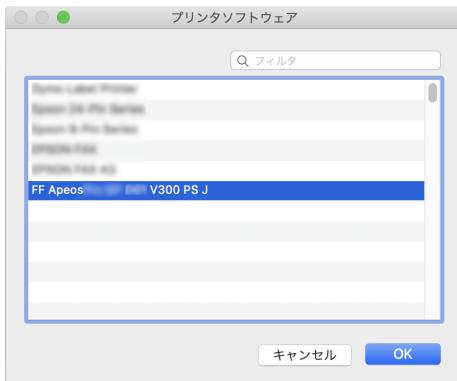


5. 必要に応じて、[名前] と [場所] を入力します。

6. [ドライバ] で [ソフトウェアを選択] を選択します。

7. プリンタソフトウェアの一覧から [FF Apeos GP N01 V300 PS J] を選択し、[OK] をクリック

します。



8. [追加] をクリックします。

プリンターが追加されます。

9. [プリンタとスキャナ] を閉じます。

補足

プリンターを使用する前に、「3.1 Macクライアント」(P.17) を参照してリソースの取得を行ってください。リソースの取得を行わないと、プリントサーバーに登録されているプロファイルを表示できません。

■ Bonjour機能

IPネットワーク内の機器やサービスなどを自動で検出するBonjour機能によって、プリンターの追加が簡単にできます。

補足

- Bonjour 機能を使用するときは、リンクメニューの【設定】アイコン→【システム設定】→【プロトコル設定】→【Bonjour】が【起動】になっていることを確認してください。
Bonjour機能については、『サーバー設定編』の「4.4 プロトコル設定」を参照してください。
- Bonjour 機能を使用してのプリンターの作成は、プリンター記述ファイル（PPD）をインストールしたあとに行ってください。
- Bonjour 機能を使用するには、プリンターを設定するクライアントPCとプリントサーバーが同一のサブネット内に接続されている必要があります。

1. [システム環境設定] で [プリンタとスキャナ] アイコンをクリックします。

2. [+] をクリックします。

3. [デフォルト] をクリックします。

Bonjour機能が設定されているプリンターが表示されます。

4. プリンターを選択し、[追加] をクリックします。

5. [ドライバ] で [ソフトウェアを選択] を選択します。

6. プリンタソフトウェアの一覧から [FF Apeos GP N01 V300 PS J] を選択し、[OK] をクリックします。

2.2 Windowsクライアント

従来のPostScript形式でデータを送信するPSプリンタードライバーに加え、PDF形式でデータを送付する、PDFプリンタードライバーがあります。

インストールの前に、あらかじめ、プリンタードライバープラグインをダウンロードしておきます。

■ 補足

プリンタードライバーのインストールは、OSの再起動直後に実施してください。

■ プリンターの作成

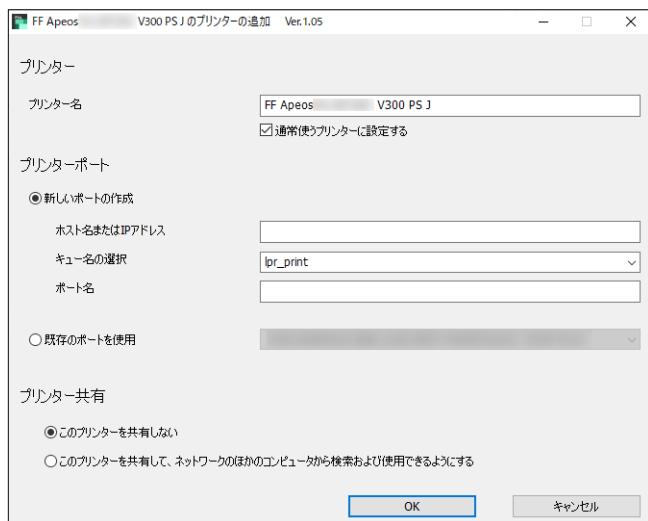
■ 補足

- ・プリンタードライバーのインストールは、管理者アカウントでWindowsにサインインしてください。
- ・プリンタードライバーを使用するには、Microsoft .NET Framework 4以降がインストールされている必要があります。 詳細は、「1.2 ソフトウェアのダウンロード」(P.3) を参照してください。
- ・最新情報はプリンタードライバーに付属の「readme」ファイルを参照してください。
- ・Bonjour機能を使用して、プリンターの作成もできます。
Bonjour機能については、「Bonjour機能」(P.11) を参照してください。

1. ダウンロードした「PSDriver_PPD.exe」(PDFプリンタードライバーは「PDFDriver_PPD.exe」)をダブルクリックして、展開します。

2. 展開したフォルダー内の「Setup.exe」をダブルクリックします。

3. 各項目を設定し、[OK] をクリックします。



■ プリンター

■ プリンタ名

デフォルトでは、プリンタードライバーの名称が表示されます。
必要に応じて、変更します。

■ プリンターポート

■ 新しいポートの作成

新しいポートで、プリンターを作成します。

ホスト名またはIPアドレス

プリントサーバーのIPアドレスを入力します。

キュー名の選択

接続するプリントサーバーのTCP/IP用の論理プリンタ名を選択、または入力します。

ポート名

Windowsのポートに表示されているポート名を入力します。

デフォルトでは、IPアドレスとキュー名の入力に連動して、「IPアドレス_キュー名」のように表示されます。

■ 既存のポートを使用

使用するポートを選択します。

■ プリンター共有

プリンターを共有するときは、[このプリンターを共有して、ネットワークのほかのコンピューターから検索および使用できるようにする] を選択し、[共有名]、[場所]、および [コメント] を入力します。

4. 次のダイアログボックスが表示された場合は [インストール] をクリックします。



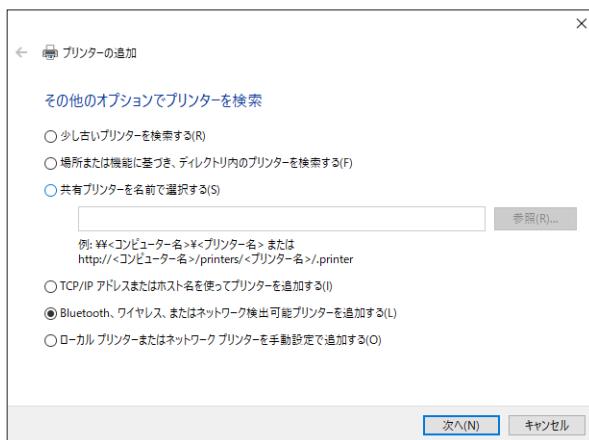
共有プリンターを使う場合

■ 補足

共有プリントでは、NetBIOS over TCP/IPが開いている必要があります。

NetBIOS over TCP/IPについては、『セキュリティ対策と安全に関する情報』を参照してください。

1. Windows の [スタート] → [Windows システムツール] → [コントロールパネル] → [デバイスとプリンター] を選択します。
2. [プリンターの追加] をクリックします。
3. プリンターを選択し、[次へ] をクリックします。
4. [Bluetooth、ワイヤレス、またはネットワーク検出可能プリンターを追加する] を選択し、[次へ] をクリックします。



5. 共有プリンターの一覧からプリンターを選択し、[次へ] をクリックします。

■ 補足

- ・プリントサーバーに登録されているユーザー名と同じユーザー名でクライアントPCにサインインしている場合、[ユーザー認証] ダイアログボックスが表示されます。この場合、ネットワーク管理者に確認して、ユーザー名、パスワードを入力してください。
- ・共有プリンターの一覧にプリントサーバーが表示されない場合は、[探しているプリンターはこの一覧にはありません] をクリックし、プリントサーバーの情報を入力してください。

6. [次へ] をクリックします。

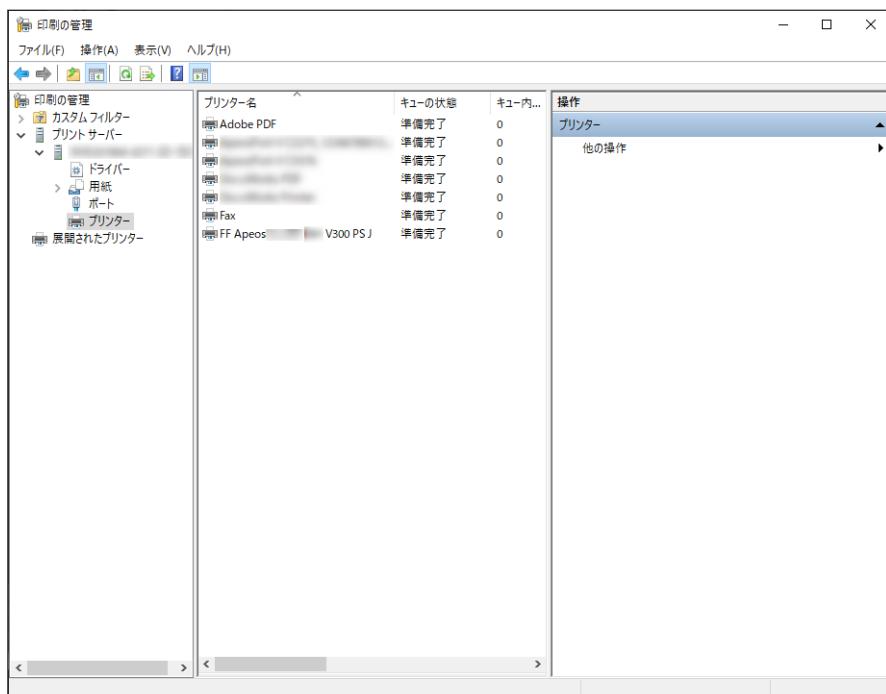
7. [完了] をクリックします。

プリンターの削除

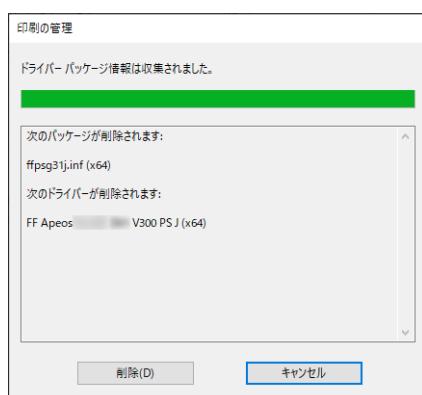
補足

Windowsの [スタート] → [Windowsシステムツール] → [コントロールパネル] → [デバイスとプリンター] → [デバイスの削除] では削除できません。

1. Windowsを再起動します。
2. Windowsの [スタート] → [Windows管理ツール] → [印刷の管理] をクリックします。
3. 左側のツリーで、[プリントサーバー] → {コンピューター名} → [プリンター] をクリックします。



4. 削除するプリンターを右クリックし、[削除] を選択します。
5. [はい] をクリックします。
6. 左側のツリーで、[プリントサーバー] → {コンピューター名} → [ドライバー] をクリックします。
7. 削除するプリンタードライバーを右クリックし、[ドライバーパッケージの削除] を選択します。
8. [削除] をクリックします。



9. [OK] をクリックします。

10. Windowsを再起動します。

■ Bonjour機能

IPネットワーク内の機器やサービスなどを自動で検出するBonjour機能によって、プリンターの追加が簡単にできます。

「Bonjour Print Services (Windows)」がインストールされていることを確認します。

■ 補足

- Bonjour 機能を使用するときは、リンクメニューの【設定】アイコン→【システム設定】→【プロトコル設定】→【Bonjour】が【起動】になっていることを確認してください。
Bonjour機能については、『サーバー設定編』の「4.4 プロトコル設定」を参照してください。
- Bonjour機能を使用してのプリンターの作成は、プリンタードライバーをインストールしたあとに行ってください。
- Bonjour 機能を使用するには、プリンターを設定するクライアントPCとプリントサーバーが同一のサブネット内に接続されている必要があります。
- 「Bonjour Print Services (Windows)」がインストールされていない場合は、Apple Inc.のWebサイトからダウンロードして、インストールしてください。

1. デスクトップの「Bonjour プリンター ウィザード」アイコンをクリックします。

Bonjour機能が設定されているプリンターが表示されます。

■ 補足

Windows の【スタート】→【Bonjourの印刷サービス】→【Bonjourプリンター ウィザード】を選択しても、起動できます。

2. プリンターを選択し、【次へ】をクリックします。

3. 【完了】をクリックします。

■ PDFプリンタードライバー

PostScriptが持つ問題が解消され、オフィス系文書の再現性が向上します。

DTP系のアプリケーションからプリントする場合は、PDF のパススルー方式に対応したアプリケーションを利用して、APPE（ジョブプロパティの【設定】>【処理オプション】>【RIPの種類】>【APPE】を選択する）でプリントすることを推奨します。

■ 補足

- PDFプリンタードライバーは、Windows 10、Windows 8.1に対応しています。（最新の対応OSについては、弊社公式サイトのダウンロードサービスから、お使いの機種のページをお読みください）
- PDFプリンタードライバーでプリントエラーが発生する場合は、全ページ分のデータをスプールしてください。
- WindowsクライアントのPDFプリンタードライバーで部数指定する場合、【プリント】ダイアログボックスの【プロパティ】をクリックして表示される【部数】を使用してください。【プリント】ダイアログボックスのアプリケーションが表示する部数指定は無効になります。

■ 参照

PDFプリンタードライバーには、制限事項があります。『ジョブプロパティ編』の「10 注意制限事項」を参照してください。